

分野
計画

子ども・子育て
支援事業計画

家庭・学校・地域で子ども・子育てを支援する環境づくり

- 市民の子育てに対する関心の醸成 ● 地域における子育て支援の充実 ● 親育ちへの支援の充実

子どもの健やかな成長を支える環境づくり

- 親と子の心身の健康づくり・食育の推進
- 発達に課題のある子どもへの支援
- 児童虐待防止対策の強化 ● 子どもの貧困対策の推進

子育てと仕事を両立できる環境づくり

- 子育てと仕事が両立できる就労環境の充実
- 男女共同参画の視点に立つ家庭生活の実現
- 子育てに伴う経済的負担の軽減
- ひとり親家庭の自立支援

子どもが学び・育つ環境づくり

- 子どもの健全な成長を支える活動の推進
- 就学前教育・保育の充実
- 学校教育の充実
- 青少年の自立促進に向けた支援の推進

子どもが安全・安心に育つことができる環境づくり

- 子どもが安全・安心に暮らせるまちづくり
- 安全・安心な遊び環境の充実



基本
方向

妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援体制を充実させるとともに、すべての子どもがのびのびと健やかに成長できるよう、地域全体で子育てを支援する環境づくりに取り組めます。

親と子を守る支援と環境
児童虐待は増加傾向にあり、

保育ニーズへの対応
共働き世帯の増加や女性の働き方の変化などにより、保育の利用申込者数が年々増加しています。本市の保育定員は直近5年間で約420名拡大していますが、保育士の確保支援や計画的な施設整備による、待機児童ゼロに向けた取組が引き続き求められています。また、学童保育室についても、ニーズは依然高い状況にあります。

現状と課題
地域で子どもを育む核家族化、地域のつながりの希薄化等が進み、妊産婦や保護者の子育てに対する不安や負担等が増大しています。保護者の孤立は養育力の低下や児童虐待につながる恐れがあるため、地域で子どもを見守り育むことができる環境が必要となります。

未然防止、早期発見、迅速での適切な対応が求められています。子どもの貧困対策やひとり親家庭の自立については、保護者の安定した就労と所得の向上に結びつけられるよう、個々に寄り添った支援が必要となります。



指標 (KPI)

重要業績評価指標	基準値	目標値(令和7年度)
保育所等の待機児童数	29人	0人
学童保育の待機児童数	13人	0人
就学前児童数	4,624人	4,558人
「地域で子どもを見守り育む環境が整っていると思う」と回答した市民の割合	63.0% (令和2年度)	68.0%

福祉
7-4

子育て・子育て

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

